



保存版

洪水 土砂災害 ハザードマップ

「もしも」の災害に備えて



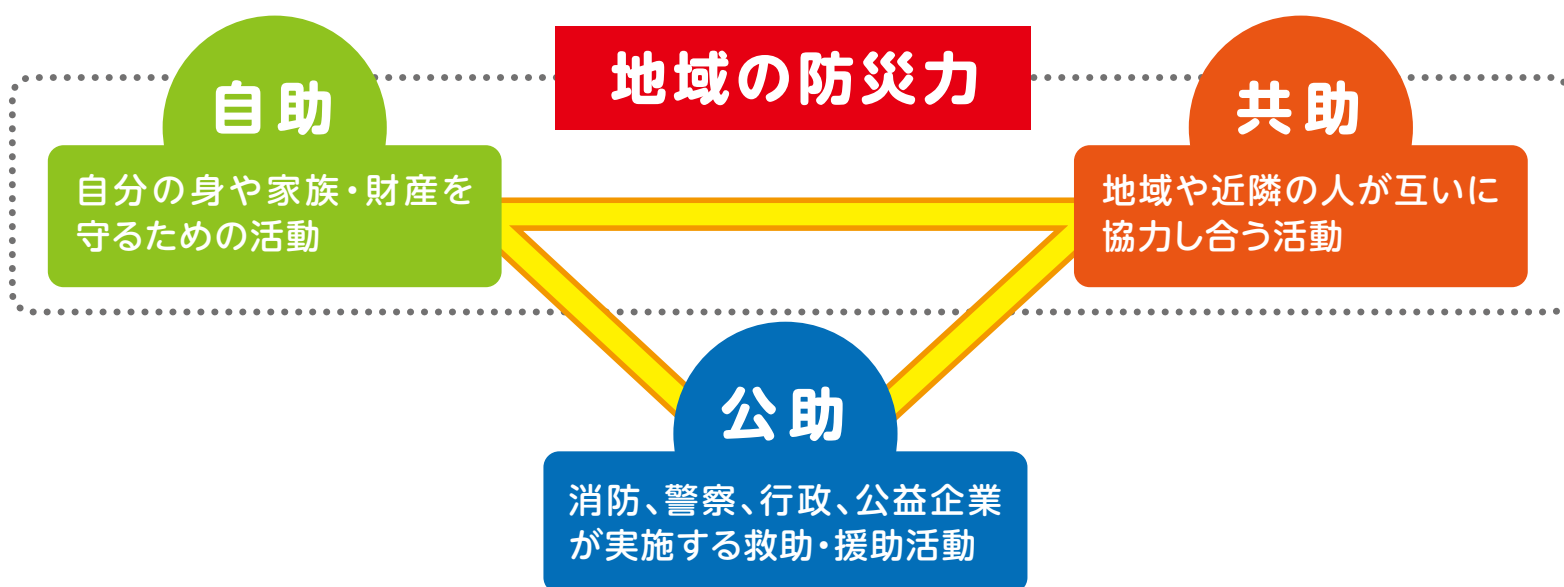
基山町

はじめに

近年、日本列島はもちろん世界的に見ても地球温暖化など地球環境の変化による自然災害が多発しており、とかく忘れがちな災害が身近なものとして、危機感が高まってきております。このような大雨や地震などの自然災害を私たち人間は止めることはできませんが、その被害を普段の備えと心構えによって、最小限に抑えることができます。

ひとたび大規模な災害が発生したときには、公的機関が行う活動（公助）は交通網の寸断や同時多発火災などにより、十分対応できない可能性があるため、個人の力で災害に備える（自助）とともに、地域での助け合い（共助）による地域の防災力が重要となります。

いつどこで発生するかわからない災害に対して迅速に対応し、被害を最小限に抑えるために、町民の皆様自らがこのハザードマップを活用し、身の回りの危険箇所や避難場所、避難経路をあらかじめ確認していただき、事前の防災対策にぜひ役立ててください。



ハザードマップの見方

ハザードマップは、見やすい場所に置き、常に確認できるようにしてください。

ハザードマップに表示してある危険箇所については、崖崩れ及び土石流、洪水等の発生する可能性のある場所を示しています。よって、その近くにいる場合については十分に注意してください。

このハザードマップを参考に、日頃から浸水や土砂災害が起こりそうな場所を把握し、避難所まで実際に歩いてみて避難経路の確認を行うなど、災害に対する備えに役立てて下さい。

■ 浸水想定区域の策定基準

本ハザードマップの浸水想定区域は、町内に流れる河川（秋光川・実松川・高原川・山下川・関屋川）について、水防法の規定により指定された想定し得る河川ごとの最大降雨量により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示しています。浸水想定区域は、想定を超える降雨が発生した場合、対象河川以外の支川、内水等の影響によるはん濫が起こった場合等を考慮されておられません。浸水想定地区外においても浸水が発生する場合がありますので、十分ご注意ください。

想定し得る河川ごとの最大降雨量：

- 秋光川流域の6時間総雨量 621mm
- 実松川流域の6時間総雨量 642mm
- 高原川流域の6時間総雨量 633mm
- 山下川流域の6時間総雨量 630mm
- 関屋川流域の6時間総雨量 646mm

目次

■ ハザードマップ	P.2～19	■ 避難時の注意点	P.29
■ 避難情報	P.20	■ 災害用伝言サービスについて	P.30
■ 土砂	P.21	■ 地域防災	P.31
■ 洪水	P.22	■ 避難所での過ごし方	P.32
■ 風水害・台風	P.23	■ 情報伝達の経路	P.33
■ 地震	P.24	■ 避難行動判定フロー	P.34
■ 火災	P.25	■ マイ・タイムラインについて	P.35
■ 平常時から確認しておくこと	P.26～27	■ マイ・タイムライン チェックシート	P.36
■ 避難所・避難場所一覧	P.28	■ 防災メモ	P.37
		■ 災害時の緊急連絡	裏表紙

基山町ハザードマップ索引図

